



狙いを定めてボールを投げる児童＝阿久比町草木小で

ボッチャ みんなで楽しい!

阿久比・草木小 児童ら大学生に学ぶ

競技の楽しさを学ぶボッチャ教室が10月31日、阿久比町草木小学校であった。

日本福祉大スポーツ科学部の安藤佳代子准教授のゼミに所属する3年生3人が、

小学4年生42人に教えた。

ボッチャは、初めに投げる白色の「ジャックボール」に、赤や青のボールをどれだけ近づけられるかを競う。児童らは狙いを定めて投げたり転がしたりし、相手の球よりも近づけられると跳びはねて喜んでいた。

体験後には手が不自由な人がボッチャで使う勾配具「ランプ」の紹介や、スポーツ用車いすの乗車、鈴の入ったボールで行うブラインドサッカーの実践もあった。

は「ボッチャは足を使えない人でもでき